

【Niskis the Lover】

説明

解説

■神殿

嵐の神殿。小神。

■称号、職能

数多の女神を誘惑し“恋人”として振舞った時にオーランスがよく名乗った名。オーランスの別名の一つ。晴天に降る雨。

■概略

アーストラのエルフの王女ミューメラを初めとし、オーランスはニスキスと名乗って数多くの女神と付き合い、数多くの子供をなした。そしてそれはアーナルダにも使ったし、彼女と結婚してからも続いている。

オーランスのカルトとしてはひどく特殊なカルトであり、その信者の数は絶対的に少ない。

組織

■相、カルト

冒険者オーランスの下位カルト。

参考文献

- ・『Thunder Rebel』 p.216-217、225